

小池辰雄記念図書室だより

2017. 6. 1 (金) NO. 37

千葉県若葉区都賀 3-24-8-4 F 小池辰雄記念図書室発行



自作の讃美歌を子供たちと歌うルター
「聖書の人ルター」小池辰雄著作集 第7巻

1. 小池辰雄誕生日記念会の冊子

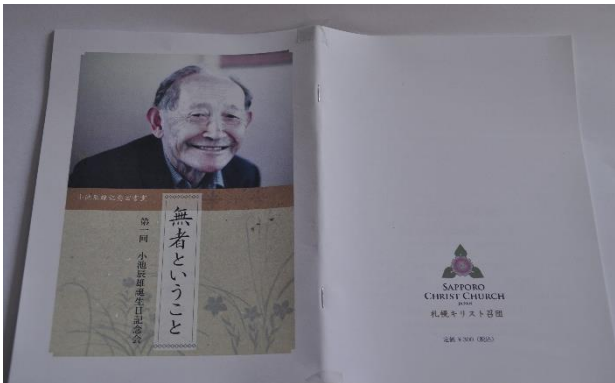
石丸 厚子(都賀)

今年の2月7日、都賀のオリーブ山教会で札幌キリスト召団として初めての小池辰雄誕生日記念会が行われました。

30名の小池先生ゆかりの方や、図書室利用者、読書会の参加者などで祝いの会を催しました。実行委員長は水谷幹夫先生、メッセンジャーに裾野召団の松井康男さん、札幌召団の長野初美さん、後藤敏夫さん、木下肇さんと午前の部ではかなり迫真のメッセージが続きました。

その時の皆さんのメッセージを冊子にして文庫に編集して頂いたものが出来上がりました。

「無者ということ」という題名です。図書室で販売しておりますので、どうぞ皆さんお読みになってください。



2. 「聖書の人ルター」の読書会

小池辰雄記念図書室(都賀)

都賀では「聖書の人ルター」の読書会が毎月一回土曜日に行われています。何故か前回の「無者キリスト」の時より参加者が減少しております。今回も前回に劣らず、とても教えられることの多い内容となっています。宗教改革を行ったルター、パウロ、小池先生から水谷先生への霊の継承が良くわかり、水谷先生はご自分が書かれた文章かと思われる時があると仰っています。ともかくこの読書会を多くの皆さまと楽しみたいと願っています。美味しいお茶とお菓子を用意してお待ちしております。

小池辰雄を読む会

●余市「無の神学」

2017年7月2日(日) 13:30~15:00

余市郡余市町豊丘町 370-9 恵泉祈りの家

*会費:無料(自由献金)

*連絡先:0135-23-9222(木下)

●札幌「無者キリスト」

2017年7月1日(土) 13:30~15:00

札幌市南区川沿 10条 3-10-5 札幌祈りの家

*会費:無料(自由献金) *連絡先:011-571-2348(浅井)

●関西「無者キリスト」

2017年7月9日(日) 14:00~15:30

神戸市中央区磯上通り 4-1-12 神戸バプトルハウス

*自由献金 *連絡先:079-588-5357(小牧)

●都賀「聖書の人ルター」

2017年6月24日(土) 10:00~12:00

2017年7月15日(土) 10:00~12:00

千葉県若葉区都賀 3-24-8 都賀プラザ 5F

*会費:1000円 *連絡先:043-235-3815(石丸)

*準備のため、出席のご連絡をお願いします。

*予習不要・初心者歓迎

本図書室は献金で運営されています。

図書室便りは隔月発行です。

余市恵泉塾・ヴィタポートからのお知らせ

現在、余市恵泉塾・ヴィタポートにおいて、ご夫婦での献身または信仰訓練を希望される方を募集いたします。

ご希望の方は、余市本部まで詳細をお問い合わせください。

<入塾希望担当窓口>

札幌キリスト召団事務局 竹花優子

mail: jimusho@vitaport.co.jp

tel: 0135-23-2857

大胆なキリスト告白

1964年2月、満60歳をもって東京大学を定年退職した辰雄は、その年の4月から獨協大学ドイツ語科教授となり、吉祥寺から埼玉県草加市まで約2時間かけて通った。75歳までの15年間その職にあった。5年後の1969年4月、東京・目白の獨協中学・高等学校第13代校長・天野貞裕(元文部大臣)から副校長を任せられ、大学教授と兼務。翌1970年4月、天野先生後継の第14代校長に。伝道一本に絞るはずが思わぬ道に導かれ、無念の15年間ではあった。

しかし、主キリストは彼を獨協大学で「人を漁る者」とされたのである。彼は東大のころよりはるかに自由に、学生にキリストを告白した。「この続きを聞きたい者は、新宿・婦選会館で毎週日曜日、伝道集会をやっている。そっちへ来い」と、余韻を残して授業を終えるコツを覚えてきたのだ。

獨協大学の学生は男も女も続々と武蔵野幕屋の伝道集会にやってきた。7月に清里・清泉寮で3日間催した第11回夏期福音特別集会は、活気のある若者たちであふれ、その後の集会の支え手となって育っていく。

この年の8月1日には、伝道のための曠愛新書第一号『福音の心臓』を曠野の愛社から発刊する。さらに12月1日に、同第二号の『桑の木によちのぼる』も発刊。天の法則に準じて、第二の伝道人生は勢いを増していく。

この1964年の仕事で忘れてならないのは、『ドイツ語固有名詞小辞典』であろう。辰雄はこれをたった一人で書き、研究社から発刊し、それがいたく評判となって売れたのである。何がそんなに良かったのか? 辰雄はドイツ語の固有名詞をどのように解説しているのか? ここに辰雄でなければできないワザが駆使されていたのである。

「Samarita」(サマリア)の項をのぞいてみよう。

①中部パレスティナの歴史的な地方、今は大方ヨルダン国に属する。②古代の首都。昔のイスラエル北王国の王城などの発掘で有名。

Samariter (サマリア人) = 主としてアッシリア方面の種族との混血が多く、南王国ユダのユダヤ人に軽蔑されていた。そのことはヨハネ4の「サマリアの女」とイエスとの井泉のほりでの会話でもわかる。イエスはルカ10にあるごとく、ユダヤ人の自己義認を「あわれみ深いサマリア人」の譬話で、いましめた。しかしこの井泉の会話で、イエスは渴きを知らない永遠の生命の水(聖霊)を自分は与える、と告げた。(ヨハネによる福音書第4章を読まれたし)。

と、このように聖書の原典にまで丁寧に分け入り、人間的興味と劇的手法をもって、小池辰雄ならではの解説をする。これがこの辞典の一つの魅力となっているのであった。

「本書の特色は、西洋文化の理解に不可欠なヘブライ精神(聖書、キリスト教関係)及びギリシア思潮(神話、芸術、哲学)にかかわる項目にはかなりの顧慮をはらったということであろう」と、辰雄自身、はしがきで自負している。

「私の今度のドイツ語固有名詞小辞典で一番、個人で長いのはパウロだよ。パウロのところは1ページ半も書いてしまった。そこはみなぎっている。なんだ、この字引は、なんて思うかもしれない。どう思われたっていいよ。それは真理なんだから。このパウロという人を抜かして、なんの今の文化かと。文化のどん底を備えているのはこのパウロの驚くべき真理ではないか。パウロをもって頭われたキリストの真理ではないか」と、こんな言葉も、当時の講演の音声に残っている。

自由に書かせてくれた出版社も偉いと思う。



『ドイツ語固有名詞小事典』1964年第一版発行 (396ページ)